LoVo□胞株

300266

LOVO□胞株は、グレードIVのDukes'C型結腸腺癌に由来し、大腸腺腫性ポリポーシス（APC）遺伝子、Kirsten rat sarcoma viral oncogene homolog（KRAS）、腫瘍タンパク質p53（TP53）の変異が特徴である。これらの遺伝的特徴は、大腸癌の進行、転移、薬剤耐性メカニズムの分子基盤を研究する上で重要である。
LoVo□胞は抗癌剤をスクリーニングするための重要なモデルであり、 LoVoのような癌□胞がどのように耐性を獲得するかを理解することにより、研究者はより効果的な治療法をデザインすることができる。LoVo□胞はまた、がん□胞の増殖、生存、転移を制御するシグナル伝達経路を探る分子生物学的研究にも用いられている。
ヒト結腸癌および大腸癌□胞株との関連では、LoVo□胞は腫瘍増殖のメカニズムや転移の過程、特にリンパ節転移、癌の進行を促す腫瘍微小環境についての洞察を提供する。 LoVo結腸癌□胞、特にloVo異種移植モデルを用いることで、研究者は癌 □胞の動態と転移能を研究することができる。
LoVo□胞におけるディープシーケンスと遺伝子発現解析は、大腸がん□胞における特定の遺伝子とその役割に光を当てた。この研究により、がん □胞の遊走と浸潤におけるインテグリンβ1などのインテグリンの重要性や、シグナル伝達経路における MMP2などの主要分子の制御が浮き彫りになり、がん □胞株の浸潤特性の理解に貢献している。
LoVo□胞は、大腸がん□胞株のモデル系として、遺伝子やタンパク質の発現から腫瘍の増殖や転移の複雑さに至るまで、がんの分子的側面の理解を進める上で極めて重要な役割を果たしている。

概要

□明

LOVO□胞株は、グレードIVのDukes'C型結腸腺癌に由来し、大腸腺腫性ポリポーシス（APC）遺伝子、Kirsten rat sarcoma viral oncogene homolog（KRAS）、腫瘍タンパク質p53（TP53）の変異が特徴である。これらの遺伝的特徴は、大腸癌の進行、転移、薬剤耐性メカニズムの分子基盤を研究する上で重要である。
LoVo□胞は抗癌剤をスクリーニングするための重要なモデルであり、 LoVoのような癌□胞がどのように耐性を獲得するかを理解することにより、研究者はより効果的な治療法をデザインすることができる。LoVo□胞はまた、がん□胞の増殖、生存、転移を制御するシグナル伝達経路を探る分子生物学的研究にも用いられている。
ヒト結腸癌および大腸癌□胞株との関連では、LoVo□胞は腫瘍増殖のメカニズムや転移の過程、特にリンパ節転移、癌の進行を促す腫瘍微小環境についての洞察を提供する。 LoVo結腸癌□胞、特にloVo異種移植モデルを用いることで、研究者は癌 □胞の動態と転移能を研究することができる。
LoVo□胞におけるディープシーケンスと遺伝子発現解析は、大腸がん□胞における特定の遺伝子とその役割に光を当てた。この研究により、がん □胞の遊走と浸潤におけるインテグリンβ1などのインテグリンの重要性や、シグナル伝達経路における MMP2などの主要分子の制御が浮き彫りになり、がん □胞株の浸潤特性の理解に貢献している。
LoVo□胞は、大腸がん□胞株のモデル系として、遺伝子やタンパク質の発現から腫瘍の増殖や転移の複雑さに至るまで、がんの分子的側面の理解を進める上で極めて重要な役割を果たしている。

ティッシュ	結腸、グレードIV、デュークスC型
病気	腺癌
転移部位	左鎖骨上リンパ節

同義語

- LOVO

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

LoVo (Cytion カタログ番号 300266)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0399

発現と感受性

抗原発現

HLA A11，B15，B17，Cw1，Cw3、血液型B型

アイソザイム

G6PD，B，PGM1，2，PGM3，1-2，6PGD，A，ES-D，1

発がん遺伝子

Myc+、myb+、ras+、fos+、p53+、sis-，abl-，ros-，src-。

変異プロファイル

LOVO□胞はKras遺伝子のコドン13に変異を持つ：GGC(Wt Gly) >GAC(Asp)

逆転写酵素	ネガティブ

製品

Carcinoembryonic antigen (CEA) 908 ng/106□胞/10日

取り扱いと飼育

培地

ハムF12K培地、w：2.0 mM L-グルタミン、w：2.0 mM ピルビン酸ナトリウム、w：2.5 g/L NaHCO3（Cytion article number 820608a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1×10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	56年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB